

令和5年度 地理歴史科

教科	地理歴史	科目	歴史総合	単位数	2単位	年次	1年次
使用教科書	「明解 歴史総合」 (帝国書院)						
副教材等	「明解 歴史総合ノート」 (帝国書院)						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

講義形式の授業を中心としながら、必要に応じて課題学習、協働学習を実施する。定期テストや確認テスト、日々の課題で知識・技能の定着を図る。資料や映像などを通し、協働学習や課題探究の時間を取り入れることで思考力・判断力・表現力を育む。また、協働学習や課題探究や日々の授業、長期休暇中の課題などで学習に向かう意欲や態度を評価する。

2 学習の到達目標

近現代の歴史の変化にかかわる事柄について、世界と其中的の日本という視野から理解し、多面的・多角的に考察し、よりよい社会の実現のために主体的に行動する態度を養い、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家・社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成する。

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	近現代の世界や日本の歴史、日本と世界の関連を理解することができる。また、近現代についての様々な資料を収集し、活用することができる。	近代以降の世界や日本の歴史から現代の諸課題を見出し、文化の多様性・複合性や現代世界の特質を多面的・多角的に考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現することができる。	近現代の世界と日本の歴史に対して関心をもち、現代の諸課題に関して課題意識を高め、意欲的に取り組むことができる。
上に示す観点に基づいて、学習のまとめごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和4年度以降入学生用

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	歴史の扉	歴史と私たち  歴史の特質と資料	a: 歴史と私たちの結びつきや歴史の特質・資料について知識を身につけて、必要な諸資料を読解することができる。 b: 設定された主題について多面的多角的に考察している。 c: 歴史と私たちの結びつきの考察や資料の読みときに意欲的に取り組もうとしている。	ワークシート  定期考査	ワークシート  定期考査 ワークシート	ワークシート  振り返りワーク
	近代化と私たち	江戸時代の日本と結びつく世界  欧米諸国における近代化  近代化の進展と国民国家形成	a: 近代化する世界と日本に関する特質・資料について知識を身につけて、必要な諸資料を読解することができる。 b: 設定された主題について多面的多角的に考察している。 c: 近代化する世界と日本に関する考察や資料の読みときに意欲的に取り組もうとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 ワークシート	ワークシート 振り返りワーク
2学期	近代化と私たち	アジア諸国の動揺と日本の開国  近代化が進む日本と東アジア	a: 日本と他国のかかわりなどに関する歴史の特質・資料について知識を身につけて、必要な諸資料を読解することができる。 b: 設定された主題について多面的多角的に考察している。 c: 日本と他国のかかわりなどに関する考察や資料の読みときに意欲的に取り組もうとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 ワークシート	ワークシート 振り返りワーク
	国際秩序の変化や大衆化と私たち	第一次世界大戦と日本の対応 国際協調と大衆社会の広がり  日本の行方と第二次世界大戦 再出発する世界と日本	a: 戦間期の世界や日本の歴史の特質・資料について知識を身につけて、必要な諸資料を読解することができる。 b: 設定された主題について多面的多角的に考察している。 c: 戦間期の世界や日本に関する考察や資料の読みときに意欲的に取り組もうとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 ワークシート	ワークシート 振り返りワーク

※令和4年度以降入学生用

3 学期	グ ロ ー バ ル 化 と 私 た ち	冷戦で揺れる世界と日本  多極化する世界 グローバル化の中の世界と日 本	a:現代の世界や日本の歴史の特 質・資料について知識を身につけ て、必要な諸資料を読解するこ とができる。 b: 設定された主題について多面 的多角的に考察している。 c:現代の世界や日本の考察や資 料の読みときに意欲的に取り組 もうとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 ワークシ ート	ワークシー ト 振り返りワ ーク
---------	--	--	---	---------------	--------------------	---------------------------

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度

令和5年度 地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史探究	単位数	2単位	年次	2年次
使用教科書	「日本史探究」(実教出版)						
副教材等	「図説 日本史通覧」(帝国書院)						

1 担当者からのメッセージ(学習方法等)

講義形式の授業を中心としながら、必要に応じて課題学習、協働学習を実施する。定期テストや確認テスト、日々の課題で知識・技能の定着を図る。資料や映像などを通し、協働学習や課題探究の時間を取り入れることで思考力・判断力・表現力を育む。また、課題学習や協働学習や日々の授業、長期休暇中の課題などで学習に向かう意欲や態度を評価する。

2 学習の到達目標

社会的な事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、学習活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家・社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成する。

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	日本の歴史の展開を理解するとともに、地理的条件や世界の歴史との関連を理解することができる。また、様々な資料を収集し、活用することができる。	日本の歴史から現代の諸課題を見出し、文化の多様性・複合性や現代世界の特質を多面的・多角的に考察し、考察したことを適切に表現することができる。	日本の歴史に対して関心を持ち、現代の諸課題に関して課題意識を高め、意欲的に取り組むことができる。
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和4年度以降入学生用

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	近現代の地域・日本と世界	開国から倒幕へ	a: 幕藩体制の崩壊と新政権の成立をもとに近世から近代への時代の転換を理解する。	ワークシート	ワークシート	ワークシート
		明治維新	b: 近世から近代の国家・社会の変容を、歴史資料を用いて多面的・多角的に考察し、表現する。 c: 国家・社会の変容の考察や資料の読み取りに意欲的に取り組もうとしている。	定期考査 確認テスト 定期考査	定期考査 ワークシート 定期考査	振り返りワーク 振り返りワーク
近代国家の形成		a: 近代日本の歴史的事象から、他国との関係の変容や近代の政治、社会、文化の変容を理解する。	定期考査 確認テスト	定期考査 ワークシート	ワークシート 振り返りワーク	
両大戦間の日本		b: 歴史的事象の意味や意義を多面的・多角的に考察して、表現する。	定期考査 確認テスト	定期考査 ワークシート	ワークシート 振り返りワーク	
十五年戦争と日本		c: 歴史的事象の中で変容する日本の国家・社会に関する考察や資料の読み取りに意欲的に取り組もうとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 ワークシート	ワークシート 振り返りワーク	
2学期		戦後日本の形成	a: 第二次大戦終了後の日本の再出発とその後の対外関係、政治経済などの変容を理解する。	確認テスト 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りワーク
		グローバル化の中の現代日本	b: 戦前と戦後の国家・社会の変容や政治の展開、経済発展について、意義や意味、関係性などを多面的・多角的に考察し、根拠を示して表現する。 c: 現代の日本や世界の諸問題についての考察や資料の読み取りに意欲的に取り組もうとしている。	定期考査	定期考査	振り返りワーク
3学期						

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度

令和5年度 地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史探究	単位数	2単位	年次	2年次
使用教科書	「日本史探究」(実教出版)						
副教材等	「図説 日本史通覧」(帝国書院)						

1 担当者からのメッセージ(学習方法等)

講義形式の授業を中心としながら、必要に応じて課題学習、協働学習を実施する。定期テストや確認テスト、日々の課題で知識・技能の定着を図る。資料や映像などを通し、協働学習や課題探究の時間を取り入れることで思考力・判断力・表現力を育む。また、課題学習や協働学習や日々の授業、長期休暇中の課題などで学習に向かう意欲や態度を評価する。

2 学習の到達目標

社会的な事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、学習活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家・社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成する。

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	日本の歴史の展開を理解するとともに、地理的条件や世界の歴史との関連を理解することができる。また、様々な資料を収集し、活用することができる。	日本の歴史から現代の諸課題を見出し、文化の多様性・複合性や現代世界の特質を多面的・多角的に考察し、考察したことを適切に表現することができる。	日本の歴史に対して関心を持ち、現代の諸課題に関して課題意識を高め、意欲的に取り組むことができる。
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和4年度以降入学生用

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	原始・古代の日本と東アジア	日本文化のあけぼの ヤマト政権の成立と古墳文化 律令国家の形成 古代の国家・社会の変容	a: 原始・古代の特色を示す歴史資料より、資料を読み取る技能を身につけ、その特色を理解する。 b: 原始・古代の特色について多面的・多角的に考察することができる。 c: 歴史資料を意欲的に読み取り、考察をたてる態度が見られる。	ワークシート 定期考査 定期考査	ワークシート 定期考査 ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りワーク
2学期	中世の日本と世界 近世の日本と世界	荘園公領制の成立と院政 中世の国家・社会の展開 中世国家・社会の変容 東アジア世界の変容と天下統一 幕藩体制の成立と展開 近世の国家・社会の変容	a: 貴族政治の変容、武士の政治進出から武家政権の成熟、発展に至る特色を理解し、それらを示す歴史資料を読み取る技能を身につける。 b: 中世から近世の各時代の時代の転換の特色を多面的・多角的に考察している。 c: 時代の転換に示す歴史資料を意欲的に読み取り、考察しようとしている。	定期考査 確認テスト 定期考査	定期考査 ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りワーク
3学期	近現代の地域・日本と世界	開国から倒幕へ 明治維新 近代国家の形成 両大戦間の日本 十五年戦争と日本 戦後日本の形成 グローバル化のなかの現代日本	a: 近代における対外的な政策の変化を歴史資料より読み取り、理解できる。 b: 歴史資料から読み取れる情報から、近代の特色について多面的・多角的に考察し、表現できる。 c: 日本と他国のかかわりなどに関する考察や資料の読み取りに意欲的に取り組もうとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 ワークシート	ワークシート 振り返りワーク

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度

令和5年度 公民科

教科	公民	科目	公共	単位数	2単位	年次	2年次
使用教科書	「新版 公共」 (数研出版)						
副教材等							

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

講義形式の授業と必要に応じて協働学習や課題を実施する。定期テストや確認テスト、日々の課題で知識・技能の定着を図る。また、現代社会の諸課題に関する資料や映像などを通し、協働学習や課題探究の時間を取り入れることで思考力・判断力・表現力を育む。さらに、協働学習や課題探究や日々の授業、長期休暇中の課題などで学習に向かう意欲や態度を評価する。

2 学習の到達目標

人間の尊重と科学的な探究の精神に基づいて、広い視野にたつて現代の社会と人間についての理解を深めさせ、現代社会の基本的な問題について公正な判断ができ、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家・社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成する。

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	人間としてのあり方・生き方や、世界や日本の政治、経済国際社会の動向について理解することができる。また、現代社会の諸課題についての様々な資料を収集し、活用することができる。	人間としてのあり方・生き方や、世界や日本の政治、経済国際社会の動向から諸課題を見出し、多面的・多角的に考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現することができる。	人間としてのあり方・生き方や、世界や日本の政治、経済国際社会の動向に対して関心をもち、現代の諸課題に関して課題意識を高め、意欲的に取り組むことができる。
上に示す観点に基づいて、学習のまとめごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			



※令和4年度以降入学生用

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	公共的な空間をつくる人間として	青年期と自己形成 人間・日本人としての自覚 西洋近現代の思想 現代の諸課題と倫理	a: 公共的な空間をつくる人間としての特質について知識を身につけて、必要な諸資料を読解することができる。 b: 設定された主題について多面的多角的に考察し、表現している。 c: 哲学・心理学・思想等の知見と自分たちとを関連付けて考察すること、資料を読みとくことに意欲的に取り組もうとしている。	ワークシート  定期考査	ワークシート  定期考査 ワークシート	ワークシート  振り返りワーク
		民主社会の基本原則  日本社会の基本原則	a: 世界や日本の社会の基本原則に関する特質・資料について知識を身につけて、必要な諸資料を読解することができる。 b: 設定された主題について多面的多角的に考察し、表現している。 c: 世界や日本の社会の基本原則に関する考察や資料の読みときに意欲的に取り組もうとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 ワークシート	ワークシート 振り返りワーク
2学期	現代の政治	日本の政治機構  政治参加と民主政治の課題	a: 日本や世界の政治機構、民主政治の特質・資料について知識を身につけて、必要な諸資料を読解することができる。 b: 設定された主題について多面的多角的に考察し、表現している。 c: 日本や世界の政治機構、民主政治の特質・資料についての考察や資料の読みときに意欲的に取り組もうとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 ワークシート	ワークシート 振り返りワーク

※令和4年度以降入学生用

	現代の経済	<p>経済の仕組み</p> <p>財政と金融</p> <p>日本経済の発展と変化</p> <p>豊かな生活と福祉</p>	<p>a: 日本や世界の経済、金融や福祉の特質・資料について知識を身につけて、必要な諸資料を読解することができる。</p> <p>b: 設定された主題について多面的多角的に考察し、表現している。</p> <p>c: 日本や世界の経済、金融や福祉の特質・資料に関する考察や資料の読みときに意欲的に取り組もうとしている。</p>	定期考査 確認テスト	定期考査 ワークシート	ワークシート 振り返りワーク
3学期	国際社会の動向と日本	<p>国際政治の動向</p> <p>国際政治の課題</p> <p>国際経済の動向</p>	<p>a: 国際政治や国際経済の特質・資料について知識を身につけて、必要な諸資料を読解することができる。</p> <p>b: 設定された主題について多面的多角的に考察し、表現している。</p> <p>c: 国際政治や国際経済に関する考察や資料の読みときに意欲的に取り組もうとしている。</p>	定期考査 確認テスト	定期考査 ワークシート	ワークシート 振り返りワーク

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度

令和5年度 地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史B	単位数	4単位	年次	3年次
使用教科書	「日本史B 新訂版」(実教出版)						
副教材等	図説日本史通覧(帝国書院)						

1. 担当者からのメッセージ(学習方法等)

講義形式の授業を中心にしながらも、教科書や史料から問題を解いたり、プロジェクターの使用やDVDなど視聴覚教材も利用し、授業への興味関心を高めていく。一方通行の講義形式にならないように注意する

2. 学習の到達目標

原始時代、古代国家の社会や文化の特色を学び、歴史・文化に対する興味と関心を高める。武家政権成立という我が国の歴史的過程を政治面だけではなく、公家勢力や旧仏教勢力が担っていた生活や文化の特色にも着目し、さらに地域的な特色にも理解と知識を深め、国際社会を主体的に生きる、民主的な社会の一員としての自覚を養う

3. 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a: 関心・意欲・態度	b: 思考・判断・表現	c: 資料活用の技能	d: 知識・理解
観 点 の 趣 旨	ダイナミックに変化する歴史展開に対して関心と意識を高め、国際社会にかかわり、主体的に生きる人としての責任を果たそうとする態度をはぐくむ	歴史の展開からそれぞれが課題を見だし、世界史的視野を忘れず、我が国の文化・伝統の認識を深め、多角的な考察からの発表ができること	当時の諸史料に親しみ、活用することで、政権が目差した意図を理解するとともに、庶民の考え。行動を考察する	古代から近代への我が国歴史の展開を、アジア・欧米など世界史的視野から総合的に理解し知識を深める
評 価 方 法	授業中の発言や質問、課題への積極的な取り組み姿勢(ノートやプリントの積極的な提出)	文章表現能力の確認(考査における論述や発表会における相互評価など点数化する)	発表における文献、絵画、地図などの資料の適切な活用を相互評価とともに、担当者による点数評価をおこなう。	課題や小テスト、定期考査などにおいて知識定着を確認、点数化によって評価する。
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4. 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1	原始・古代	日本文化のあけぼの	○		○		a: 原始・古代の日本社会の成り立ちを理解し、原始・古代から中世への変遷に関心を持ち、意欲的に授業に集中し、史料に接している b: 日本の歴史をアジアの動きとの関連も考え、多面的多角的に考察している c: 諸史料を読みこなし、有用な情報を選択して、自分でまとめる d: 時代の変化を、基本的な事項を理解し、世界の動きと関連して理解し、その知識を身につけているか	定期考査 ノート・プリント 課題提出 授業中の発問への答え
		水稻農業の開始と社会生活の進展	○	○		○		
	中世	東アジア文化の影響と律令制度の成立	○	○		○		
		摂関政治と国風文化文化	○		○	○		
2	中世	中世社会の成立と文化の新機運	○	○		○	a: アジア地域との関係と成長する庶民を中心とした国内の動き、新しい国際関係を意欲的に考察しているか b: ヨーロッパとの出会いと影響との関係を考え、多面的多角的に考察する c: 史料・文化の特徴などから、探したい情報を選択し、自分でまとめる d: 世界の動きとの関係を理解し、鎖国などの対外政策の意味を深く考え、知識を深める	定期考査 ノート・プリント 課題提出 授業中の発問への答え
		武家社会の展開と室町文化	○	○	○			
	近世	幕藩体制の展開と近世の文化	○	○		○		



## 「学校設定科目」届 (指導と評価の年間計画)

※令和3年度以前入学生用

教科	地歴	科目	(学)日本史演習	単位数	2単位	年次	3年次
使用教科書	「日本史B 新訂版」(実教出版)						
副教材等	「図説日本史通覧」(帝国書院)						

## 1. 担当者からのメッセージ(学習方法等)

講義形式の授業を中心としながら、単元ごとの小テストを実施し、知識の定着を図る。また、プロジェクターを使用して様々な資料や映像、画像を提示することで思考力を高めていきたいと思う。

## 2. 学習の到達目標

日本の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に考察させ、戦争に至る経過、戦後の復興、世界の中での日本、についての認識を深めさせることによって、歴史的考察力を培い、国際社会に主体的に生きる公民としての自覚と資質を養う。

## 3. 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a: 関心・意欲・態度	b: 思考・判断・表現	c: 資料活用の技能	d: 知識・理解
観 点 の 趣 旨	なぜ十五年戦争に突入したのかを当時の世界情勢を考え、国内の社会の状況に関心と興味を持てるように取り組ませる。	当時の世界情勢を深く考え、国内政治がどのようにそれに対応したのかを考える。	1930～45年に関する諸資料また、戦後日本を成長させた諸資料を収集して有用な情報を適切に選択して、まとめあげる。	十五年戦争当時の国際社会と日本。戦後の国際社会の中での日本の基本的な事項を国際環境と関連付けて理解しその知識を身につけている。
評 価 方 法	確認テスト レポート提出	定期考査	定期考査 長期休暇の宿題の 発表内容	定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとめごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。



令和5年度 公民科

教科	公民	科目	政治・経済	単位数	3単位	年次	3年次
使用教科書	「現代政治・経済 新訂版」(清水書院)						
副教材等	2023新政治・経済資料 三訂版(実教出版)						

1. 担当者からのメッセージ(学習方法等)

教科書に準拠した講義形式の授業に、時事問題に関心が持てるように学習し、単元ごとの小テスト等による知識の定着を図る。  
また調べ学習を実施したうえでプレゼンテーションや討論を行い、相互評価を取り入れた評価を行う。政治経済上の諸問題について自分の考えを述べたり、文章で表現する機会を設ける。

2. 学習の到達目標

広い視野に立って、民主主義の本質の理解を深めさせ、現代における政治・経済・国際関係等について客観的に理解させるとともに、それらについての諸問題を主体的に考察させ、公正な判断力を養い、良識ある市民として責任のある行動する力を養う。

3. 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a: 関心・意欲・態度	b: 思考・判断・表現	c: 資料活用の技能	d: 知識・理解
観 点 の 趣 旨	現代の政治・経済・国際関係について関心を高め、意欲的に課題を追求し、責任ある公民として平和で民主的な社会生活の実現に向けて参加・協力する態度を身につけ人間の生存についての自覚を深めようとする。	現代社会の諸問題から課題を見出し、社会的事象の本質や人間の存在や価値について、多面的・多角的に考察し、社会の変化や多様な考え方を踏まえ公正に判断して、その過程や結論を適切に表現している。	現代社会の諸問題についての諸資料を収集し、批判的に、公正かつ精確に情報を活用し、客観的な根拠を示している。	現代社会の様々な問題について基本的な知識を持ち、また考察に使える概念の理解ができて、精確に使えるか。
評 価 方 法	レポート、プレゼン・討論への取り組み姿勢、テーマの選択、探究心の深まりを評価する。また授業におけるノートの作り方の工夫を見る。	レポート・プレゼン・討論などの構成・説得力のある客観的根拠、用語や表現の適切な使用ができる。	様々な方法による情報の収集ができ、批判的に情報の処理を行い、公正な判断や論証ができる。	現代社会に関する基礎知識の理解、分析に有効な概念の理解と適切な使用が出来るか。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。



## 4. 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1 学期	現代の政治	民主政治の基本原則	○	○		○	a:民主主義とは何か、民主主義が健全に行われるために必要な事は何かを考察している b:憲法の条文を現実の事象、裁判でどう解釈し判断するかを理解している c:裁判や議論などで両方の主張の公正な扱いができていない。 d:条文や制度の意義、運用について精確に理解できている。	定期考査 授業プリント・ノート グループディスカッション
		日本国憲法と国民権 日本国憲法と平和主義		○	○	○		
		日本国憲法と人権保障	○		○	○		
		日本の政治機構	○	○	○			
		現代日本の政治	○		○	○		
		国際政治と日本		○	○	○		
2 学期	現代の経済	現代経済のしくみと特質 金融と財政の仕組み	○	○		○	a:経済問題を自分の問題として理解し、将来を考えることができる。 b:経済がどのような関連で動いているのかを分析できる。 c:統計やグラフに慣れ、経済指標を理解して分析ができる。 d:経済用語の精確な理解ができていない。	定期考査 授業プリント・ノート グループディスカッション
		日本経済の歩みと現状		○	○	○		
		福祉の向上と日本経済の課題		○	○	○		
		世界経済と日本		○	○	○		
3 学期	現代政治・経済の諸課題	現代日本の諸課題	○	○		○	a:時事問題について基本的な理解ができ、公正な判断ができる。 b:時代の大きな流れを読み取り、未来への展望を持つとしている。 c:グローバル化と〇〇ファーストという対立図式や格差拡大を理解。 d:時事用語・ニュースについて構成に理解している。	定期考査 授業プリント・ノート グループディスカッション レポート
		国際社会の諸課題	○	○	○			

※ 表中の観点について     a: 関心・意欲・態度     b: 思考・判断・表現  
                                   c: 資料活用の技能     d: 知識・理解

※ 年間指導計画(例)作成上の留意点

・原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において特に重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○を付けている。